

9月17日(木)

10:00~12:00

(受付開始 9:30)

会場：Cafe こころく

対象：障害児者の家族、支援者、関係者等

参加費：500円

(そらサポート会員：200円 学生：無料)

定員：30名



講師：松本理沙さん

同志社大学社会学部社会福祉学科実習助手。専門は、障害者の家族支援。特にきょうだい支援に力を入れており、「京都きょうだい会」や「しろくま会」(20~30歳代のきょうだい会)、「京都府自閉症協会なかよし会」(自閉症児のきょうだい会)の運営業務に携わっている。きょうだい(知的障害と自閉症の弟を持つ姉)の立場でもある。

昔と比べれば、障害のある子どもたちが使える支援やサービスは増えました。親にとっても、子ども自身にとっても良い時代になってきたと思います。

それでも家族というのは特別な立場です。親の悩みについてはよく知られていますが、障害のある子どもたちの「きょうだい」についてはどうでしょうか。

同じ家族の一員として障害のある子どもと長く深く接することになる「きょうだい」。「きょうだい」ならではの悩みや不安、葛藤などがたくさんあるはずなのに、あまり話題にされることがありません。

ご自身も「きょうだい」の立場であり、きょうだい会の運営にも関わる松本理沙さん(同志社大学実習助手)をお招きし、きょうだいがどんな思いを抱き、どんな影響を受けやすいのかを、お聞きします。

おにいちゃんのことを友達に話せない…。

弟の将来はどうなるのだろう…。

考えよう！ 障害のある子の "きょうだい"のごと

がマ>するのはいつも自分ばかり…。



申し込み・問い合わせ先

NPO 法人そら

住所：京都府相楽郡精華町祝園西一丁目 8-1 ほうその共生ビル 3 階

電話：0774-93-3814 FAX：0774-93-3826

E-mail：nposora2003@yahoo.co.jp

担当：地主（じぬし）

対象：障害児者の家族、支援者、関係者等

参加費：500 円（そらサポート会員：200 円 学生：無料）

申し込み方法：FAX または E メールで「そら」までお申込みください。

※FAX の場合は本紙をご利用ください。Eメールの場合は、下の必要事項をご記入ください。

※定員（30 名）を超えた場合、お断りをさせていただくことがありますので、ご了承ください。

考えよう！ 障害のある子の“きょうだい”のこと

申込用紙

名前			
住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
立場	以下の該当するものに○をつけてください。 ・障害児者の保護者（※） ・障害児者の支援者 ・学生 ・その他（ ） ※保護者の方は差し支えなければ、障害のある子本人ときょうだいの年齢を教えてください。講師の松本さんが参考にされます。 本人（ ） 歳 ） きょうだい（ ） 歳 ）		